

2018年2月18日(日)

開場 13:30 開演 14:00

福島市音楽堂 大ホール

全席自由 一般 1,000円 高校生以下 800円 ※未就学児は無料
(母子室あります。)



芸術監督・指揮：
嶋津 武仁
(作曲家・福島大学名誉教授)

ORCHESTER PFIRSICH
THIRTEENTH CONCERT

モーツァルト (編曲：嶋津武仁)
セレナード第10番「グラン・パルティータ」
K.361 第3曲 (オーケストラ版)

ハイドン
交響曲第94番「驚愕」ト長調 Hob.I:94

ベートーヴェン
交響曲第2番 ニ長調 Op.36

チケット取扱い：福島市音楽堂、とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)
あきたや楽器店、日野屋楽器店、楽器専門店“BRILLIANT”
ダイユーエイトMAX福島店サービスカウンター、中合福島

主催：オーケストラ・フィルジッヒ
後援：福島市、福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、ラジオ福島、福島テレビ、
福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMポコ
協賛：株式会社パナナ
助成：(公財)福島県文化振興財団助成事業

お問い合わせ：pfirsich@pfirsich.jp ウェブサイト：http://www.pfirsich.jp

ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

オーケストラ・フィルジッヒ

第13回演奏会

「フィルジッヒ」とはドイツ語で「桃」を意味します。団員にとってゆかりの地である福島の名産品を冠したこのオーケストラは、しばしば親しみを込めて「桃オケ」と呼ばれるまでになりました。第12回演奏会開催から約2年間の充電期間の中で、メンバーは、音楽を演奏することのみならず、そこから生まれる交流、地域への貢献についての想いを新たにしてきました。

そこで今回のプログラムには、このコンサートに特別な音楽的意義を与えるために、「古典派」（クラシック）の時代の代表的作曲家である、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの作品を並べています。「堅そう」なイメージのある作品ばかりかもしれませんが、そこにはクラシック音楽の「原点」があります。「構築、構造の美」、つまり飾り気の少ない、真に「形の美しさ」があります。音楽はメロディーの美しさだけで出来ているではありません。意味ある言葉が有機的に構築されて、壮大なる文学作品ができていくように、ここではわずかな音の断片が、楽章や音楽全体を構成する、そんな「壮麗な建築美」にも似た世界があります。もう一度その「原点」に立ち戻って音楽を観た時、それまでとは違った魅力ある音楽の世界が広がり、あたらしい音楽を味わうことができるはずです。それを「桃オケ」のメンバーと一緒に味わってみませんか。

芸術監督・指揮：嶋津 武仁



1949年静岡県に生まれる。作曲を甲斐説宗、指揮を伊藤栄一らに師事。1977年ドイツへ留学。ベルリン芸術大学にて作曲をイサン・ユンに、指揮法および総譜奏法をD.ボルフに師事。

ゲバントハウス管弦楽団、DAAD、ISCM「世界音楽祭」や英二現代舞踊団、日本舞踊西川宗家、及び洋楽器、邦楽器奏者などより作品を委嘱。米ジョージア大学客員教授(00年)。ザールブリュッケン音楽祭(03年)、ドレスデン音楽祭(05年)、プロツワフ音楽祭(06年)、北京国際電子音楽祭(08年)、台湾国際電子音楽祭(09年)、ミュージック・フロム・ジャパン音楽祭(12年ニューヨーク)、トンヨン国際音楽祭(13年韓国)などに参加。ヴィニニアフスキ国際作曲コンクール(80年ポーランド)、ハンバッハ国際作曲賞(82年ドイツ)、プールジェ国際電子音楽コンクール(96年フランス)入賞、文化庁舞台芸術創作奨励特別賞(98年日本)他、受賞。国際現代音楽協会ISCM世界音楽祭(82年グラーツ／オーストリア、88年香港、93年メキシコシティ／メキシコ、2016年トンヨン／韓国)、アジア音楽祭(82年香港、86年ソウル、91年フィリピン、99年横浜)、コンピュータ音楽国際会議ICMC(88年ケルン、93年東京、96年香港)他入選。コンピュータ音楽国際会議ICMC東京大会(93年)音楽委員長、国際作曲コンクール審査委員(96年香港)他、文部科学省大学設置審議会専門委員(音楽・指揮、2002～04年)を勤める。作品のLP、CDが日本をはじめ、アメリカ、ドイツ、メキシコ、フランス、スイス各国で出版。

ブライトコップ&ヘルテル社、F.ホフマイスター社、等より楽譜出版。2012年「JFCアジア音楽祭」(東京)において、自作品発表のため、東京フィルハーモニー交響楽団を指揮。2013年よりニューヨーク・フィルとの子どもの創作教育プログラムで連携。2015年福島市内の小中学生とともにニューヨーク・フィルハーモニー管弦楽団に招かれ、リンカーン・センターにて子どもたちとの共同作品を指揮。また、2016年には、ふたば未来学園高校音楽部の生徒たちとともに同楽団に招かれ、ニューヨークでコンサートを行うなど、青少年のための作曲指導を通じた国際交流を行っている。前福島大学附属中学校校長。

現在、福島大学名誉教授。オーケストラ・フィルジッヒ芸術監督。福島オペラ協会理事(前理事長)。日本作曲家協議会、日本現代音楽協会会員。

Orchester Pfirsich オーケストラ・フィルジッヒ

オーケストラ・フィルジッヒは、福島県に縁のある器楽奏者を中心に2003年に創立された非常設のオーケストラです。諸事情により恒常的なオーケストラ活動が困難な人、音楽教室の講師、各地の市民オーケストラに所属している人などにより構成され、音楽を愛する人の新たな交流の場となっています。そして限られた練習回数の中で、より質の高い演奏を行うことを目標に活動しています。

芸術監督に作曲家で福島大学教授の嶋津武仁氏、常任指揮者に福島市出身で新進気鋭の高橋裕之氏を迎え、2004年2月に初の演奏会を開催。以来、バロックから現代まで、交響曲からオペラまで、様々な時代・ジャンルの曲に取り組んでいます。2014年2月の第10回演奏会ではベートーヴェンの「第九」を、福島市内の高校生を中心として編成された合唱団コア・フィルジッヒと共演、大きな喝采を博しました。

楽団名となっている“フィルジッヒ (Pfirsich)”＝桃は福島の名産品です。その花が美しく咲き、香りが風に乗って届くように、また、その果実の豊かな味わいが人を喜ばせるように、当楽団の存在が、音楽を愛する全ての人々にとって歓迎されるようにとの願いが込められています。



第10回演奏会 2014年2月11日 福島市音楽堂